広報まるき

題字・佐々木緑

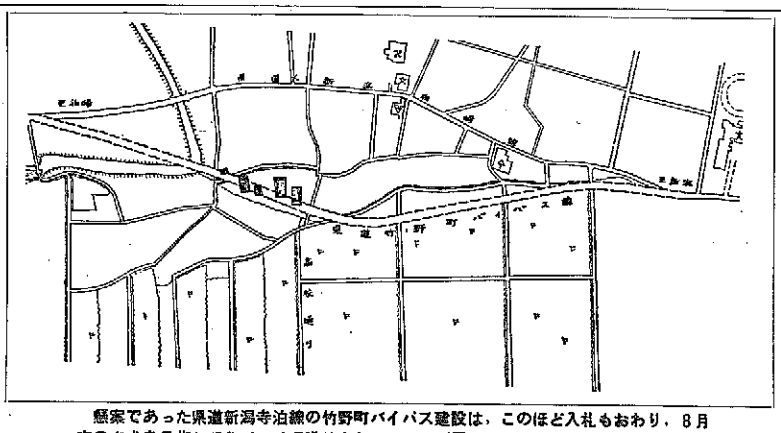
1966年5月10日
第5号
発行　新潟県巻町役場
電話代表(2)3131
編集　企画調査課

住民登録人口
（昭和41年4月30日現在）

総人口	27,690人
男	13,265人
女	14,425人
世帯数	5,835

竹野町バイパス着工

新潟寺泊線



懸案であった県道新潟寺泊線の竹野町バイパス建設は，このほど入札もおわり，8月末の完成を目指して急ピッチで進められている。（図はバイパス法線を示す）

部落の東側を走る

総工費　1,268万円

バイパスは別図のとおりで、竹野町小学校前附近から現県道と分れて、竹野町部落の東側、苗代地帯を間手橋附近に結ぶまで、ほぼ現県道と並行に走ることになります。このバイパスの延長は千五十米、幅巾七・五米、総工事費千二百六十八万円（内町負担分七十六万円）となっています。

県道新潟―寺泊線のなかで、この竹野町区間は交通の難所となっていました。家屋が密集しているうえ、道幅はわずか四・五米。年々激増する交通量をさばきれず、海水浴シーズンには一台の自動車がエンコすると他の車は三時間も立ち往生するほど、ひどい混雑をていしてきました。そこでこの整備の一日も早いことが望まれていたのです。

この法線に決まるまでには町も地元も現道の拡幅を希望したのですが、家屋の移転補償で県は難色を示しバイパス案が提案されました。このバイパス案にも西部、東部の二案がありましたが、西部案では延長がやや長くなり、工費が多くかかるなどで県は東部案を打ち出していました。これに対して町や地元は慎重に検討を続けてきましたが、最終的には県の提案する東部案に同調、決定をみたのです。

町は、この法線の決定により大切な苗代を気もちよく提供してくださった地元の方がたや家屋の移転を余儀なくされた阿部東一さんなどのご理解とご協力に感謝するとともに、一日も早く立派なバイパスの実現を県に要望しています。

建設工事は、さる四月二十九日に水倉組が落札し、八月末日の完成を目指して作業は急ピッチで進められています。なお、今回はバイパスの建設工事のみで、引続き現在の県道も含めて舗装工事が行なわれることになっています。

七月完成を目標
竹小、増築工事開始
工費三百三十二万円

教育効果をよりじゅうぶんに発揮できるための適正な規模を考え、これに近づけるように小規模学校の適正化をはかろうと、三月三十一日をもって稲島分校を廃止したことは、すでにご紹介したとおりです。竹野町小学校は明治八年に竹野町村金仙寺を仮学校とし創立されましたが、大正二年現在の位置に新築移転し、九十一年の歴史をもっています。この間三千七百十人を育て立派な社会人として世に送り出しています。その多くは家業を継ぎ、郷土の発展に貢献されていますが、なかには異郷の地、北海道から九州と国内全域にわたって、また遠くはブラジルなどにも活躍されている人たちもあります。

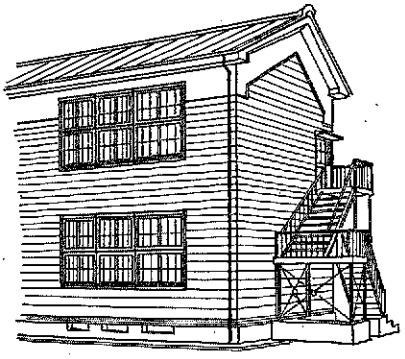
新学期から稲島、伏部両部落の児童七十八名が竹野町小学校へ通学しています。統合後の児童には心配された通学による疲労感もないということですし、むしろ小さな集団から大きな集団にはいったことによって、社会性や道徳性が養われたと関係者は大変喜んでいます。

統合によって二七一名九学級編成となった竹野町小学校では、普通教室一、理科教室一が不足し、どうしても新増築が必要となりました。

町では、昭和四十一年度予算に三百三十二万円で新増築することを議決し、国や県に対して補助金や起債など事務手続きをすすめてきました。

その内容は竹野町小学校北校舎に延長、木造二階建、延面積百四十九・八平方米（四五・四坪）、一階は理科教室七十四・九平方米（二二・七坪）、二階が普通教室五十六・七平方米（一七・二坪）となります。

そのほか鉄骨造りの非常階段がつきます。工事は七月十五日完成を目標に近く着工いたします。



竹野町小学校完成予定図

鎧潟を中心に近く発足
広域行政研究協議会

巻町、西川町、潟東村の三ヵ町村で、近く鎧潟地区広域行政研究協議会の設立総会が開かれることになりました。

この協議会は、関係町村から各十一人の委員（町村長、助役、議員六、学識経験者三）で構成され、広域行政に関する調査、研究、連絡、調整などを行なうことになっています。

最近になって、ここ数年の経済成長とそれにともなう社会、経済事情の急激な変化から県は市町村に対して、広域行政の推進を強力的に呼びかけてきました。

これは、たとえば各町村が道路工事をばらばらにやるため、一方の町では立派な道路があるのに隣りの町に入るとその道路は行き止りになっていたり、悪路であったりします。隣りの町の学校が目の前にあるのに遠くの学校へ行かなくてはならない場合があります。また、テレビなどマスコミの発達によって農村の急激な都市化の現象、ゴミ、し尿の処理などの衛生施設上、下水道、養老院あるいは体育施設など住民の新しい行政需要は大変多くなってきています。

しかし、多くの場合、財政規模などから単独の力では処理がむづかしく、数町村で協力して広域的な解決をはからなければならないのが現状です。

今回の鎧潟干拓を機に、それをとりまき、地理的、社会、経済、文化的の要因を同じくする巻、西川、潟東の三ヵ町村でこの問題を研究、研究などをするために作られるものです。

この会の成果いかんにより関係町村の住民福祉が飛躍的に増進するものと大いに期待されます。

積立分譲住宅のお申し込みは
五月二十五日まで建設課へ

堀山第二住宅団地に新潟県住宅供給公社が、宅地づき建物の分譲をすることになりました。ご希望の方は五月十日から五月二十五日までに役場建設課にお申し込みください。

新潟県住宅供給公社は、法律に定められた法人で新潟県が出資をしています。公社の目的は、住宅の不足している地域で、住宅のほしい勤労者のために、住みよい、環境のよい集団住宅や宅地を供給することにあります。

なお、その内容について次のようにいろいろときいてみました。

問　積立金分譲住宅とはどういうものか。

答　県の住宅供給公社が、みなさんにかわって住宅金融公庫の資金の借入から建築までやり、その建設費のうちの自己資金（頭金）を銀行に積み立ていくものです。

問　分譲住宅の規模はどのくらいか。

答　分譲住宅は、土地が約二百平方メートル（六十坪）住宅が約五十三平方メートル（十六坪）で建物の平面図は別図のとおりで一定のものです。

問　積立金の方法とか、金額については。

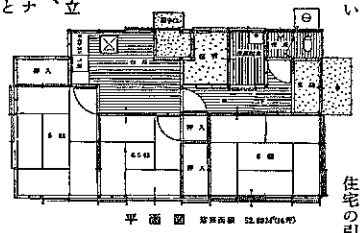
答　土地および建物の分譲予定価格は、一戸当り百五十七万円です。このうち金融公庫の融資が八十八万円ありますから、自己資金は六十九万円が必要です。この自己資金に対して積み立てをすることになります。

申し込みをして、契約をするとき、まず三十万円を積み立てます。あとの残り三十九万円について一年、一年半、二年半の三種類の申し込み区分によって積み立てをするのです。もちろん積み立てた金額には利子がつきます。

問　三十九万円を一年で積み立てるとすれば、一ケ月三万円あまりになり、

答　いしと思うが。

答　均等に積み立てなくてもよいのです。一万円以上を毎月積み立てて、ボーナスのとき多く積み立てる方法も決める事になっています。



平面図

あり、また、一万円以上毎月積み立てし、残額は住宅の引渡しのときに準備すればよい方法もあります。

問　今回の分譲の予定戸数はどの位か。

答　一年積み立ては二十戸、一年半積み立て十戸、二年半積み立て五戸となっています。尚、各種別ごとに申込者が超過すれば抽せんで決めるようになっています。

題字の人

五月に入ると子供たちにつながる行事が続いてやってきます。五日の「子どもの日」、八日の「母の日」。一般的に戦後の子どもは〝ひ弱〟だと評価されています。

しかし、なかにはその評価をはね返すよい子たちもたくさんいるようです。その一人、佐々木緑さん（篠山中学校三年生）は〝母の日〟の感想を「兄が十才、私が九才、弟は五才のときに母は病気で亡くなりました。母の枕元に父によばれて〝お母ちゃんはもう死んでしもうんだよ〟ときかされたとき、なぜか私は泣けませんでした。

いま考えると幼いながらなんとなく母の死に対する心がまえができていたのでしょうか。

〝母の日〟が近づくと学校でカーネーションの注文をとります。そのとき、希望者は手をあげさせられますが、手をあげられない私は、忘れかけていたさびしさがいつも胸にこみあげてきます。でも私たちには立派な父がいます。両親のない人たちにくらべたらまだまだ幸せなんだと思いなおします。

私は将来高校を卒業したら父の勝元をはたれて自活して行きたいと思っていますが、女手のない家庭なのでそれも当分むづかしいことかも知れません。

上をみたらキリがありません。現実をみつめて精一杯生きて行きたいと考えています」と明るく喫茶店で話してくれました。

緑さんのような〝白いカーネーション〟の仲間たちは、みんな明るく元気でたくましく生長しています。

今月の焦点

地域の発展に期待される新国道

新潟県総合開発計画や新産業都市計画のいずれにしても重要性を説き、そして、産業の基礎として、また、産業の整備が重点的に織り込まれていることによって推察される。

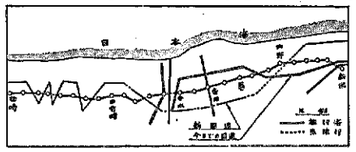
町は従来、経済力の大きな部分を農業に依存してきた。今後、町としては、農業は農業としてさらに発展成長を企図することはもちろんであるが、この機造的な後継性を克服することに、大きな力を注がねばならないと考えられる。

現在、町は他町村と同様に人口の流出が目立っている。これをくいとめる策としては、地元産業のウソ化が考えられる。

幹線道路の完成による地域振興の例は県内にも多くある。ことに国道七号、八号、四十九号線の沿線のバイパスということになろう。このことは新国道の完成によって分散や周辺町村との産たんが大いに期待されるものと思う。と同時に現在の市街地が新国道線まで伸展し町の様相は一変するであろう。

しかし、すべての土木建設工事には用地の買収問題がつきまとう。これは全国的な問題であり、いろいろな事例を見聞する。父祖伝来の土地への愛情、土地価格の点あるいは感情的な勘争など、原因は多様なものだと思う。国は土地収用の手続を簡じてはいるが、いずれの場合でもよほどのことがない限り適用はなるべく解決にもり込んでいるようだ。結極土地所有者が大乗的な立場で、百年の大計を考え、その理解と協力により番望ましいあり方であろう。

町が明日への希望をかけ新国道の建設工事も町に入ってきた。その一日も早く完成を願う。全町民、全郡民、全県民の促進にあたることこそ、巻町勢の飛躍的前進を約束することを、もう一度みんなが考えなければならないのではないだろうか。



新潟県都市計画図

鴨川町の農業を見る

後継者大学研修記

巻町農業後継者大学の受講生鈴木靖夫君ら三十一人は、千葉県安房郡鴨川町の農業経営クラブの青年の招きで、去る三月十一日鴨川町を訪れ〝将来の農業〟について交換勉強会をおこないました。受講生一行は各農家に分宿し、実際の経営や施設を見学しました。

鴨川町は房総半島の海岸線に沿った人口約一万八千人、面積五九・九キロ平方メートルの町です。三月に入ると菜の花が満開というようやましいような立地条件に恵まれています。産業構造は、農業二九・五％漁業一〇・二％、商業その他六〇・三％で農業の約三分の一を農業が占めています。農家戸数は千百四十戸耕地面積千二百三十九ヘクタール（田千七ヘクタール畑一百三十二ヘクタール）で、耕地は土地改良がされていなく、平均耕作面積は七〇アールから八〇アールとなっています。鴨川町の農業経営クラブの青年たちは少たい耕地の利用、今後の農業経営のあり方について真剣に取組み、水田裏作にビニールハウスなどを取り入れ相当の成果を上げております。

ある青年の家では水田一・五ヘクタール、うち二〇アールに裏作と畑三〇アールを三人で耕作しておりますが、ここから上がる収益は水稲作で四十万円、裏作のビニールハウスの収益は、イチゴ七十万円、トマト十万円、キュウリ十万円、その他之葉で十万円とわずか二〇アールの裏作によるビニールハウス栽培で組収益百万円を上げております。本町の三（ヘクタール（三町歩）の経営農家を上廻る収入を上げる近代的な農業経営が営まれています。

このような近代的な農業経営を実際にみてきた受講生たちは、これから自分たちの農業経営にこの経験をどう生かしていくか、そのなかの四人の人たちにその感想をきいてみました。

前向きの農業経営

鈴木靖夫　松野尾

鴨川町経営クラブは作目の選定、経営内での役割、地域の農業方針などを考え経営していることは大きな強みであろう。

ハウス栽培にしろ、畜産にしろ、経費が少なくてすむので所得の割合の多いことと、また作業計画が非常に楽なことに驚いた。ただ彼らは自分のやりたい作目を選んで地域をあまり考えていないように思えた。

これを裏付けるように現在、千葉県の農業面で一番の悩みは生産費、市場に恵まれていないため、農家個々の団結が弱く一貫した出荷ができないことだという。それを示すように鴨川町だけで二十五の生産団体があるという。

必然的に多角経営になるのであろうが、現在の経営方針としてはどういうものかと考えさせられた。

この県外研修から家の経営を考えてみると、現在家ではタバコ、スイカ、水稲二期作になっている。ここに新しい部門を導入は労働力を一休以上に使っているので不可能だ。とすれば、いずれかと入れ変えなければならないが、大根は別にして三作目と変えるには条件を必要とする。

一つは労力の配分、一つは粗収入が少なくとも百万円以上でなければならないということになると問題が生ずる。さしあたっては各作目の労働配分と強力、省力により「二人の農業」を実現したいものである。

最後にこの県外研修によって考えさせられたことはわれわれの地帯は恵まれた土地条件より惰性的傾向にあるのではないかということだ。

鴨川町は必ずしも農業先進地とは思われないが、同年輩が非常に農業に前向きであることに大いなる刺激を受けた。

鴨川町農業経営クラブの青年と交換勉強会

一人一人が経営者

山賀由起子　竹野町

この町の農業は気候が良いためか簡単で粗末なハウスでも結構、用が足りている。新潟ではとてもああは行かないだろう。そんなところは大変うらやましい限りであった。

すぐ近くに東京という大消費地をひかえているということも大きな特権ではなかろうか。こんなふうに鴨川町と巻町とは環境条件に大きく異っているといえる。

しかし鴨川町の経営クラブの人達は、各個人個人が自分の家の経営状態を考えたうえで、自分一人でハウス栽培、酪農なら酪農というように自分の活動部門を持っている。本当に素晴らしいことだと思った。耕地面積が少いから今まで通りの経営では自立経営が難かしいからかも知れないが、気候と地質に恵まれた土地で、自分の特技を生かし、のびのびとした経営をやっているその姿は、何か目新しくこれが農業に生きる若い人の本当の姿だと感じさせられた。それに比較して私たちはいろいろな面で恵まれていて、農村の後継者として社会から注目され、そんな社会に甘えているのではなかろうか。そんなところが向うの青年たちに差をつけられた感じがする。

一番印象に残ったのは年中〝菜の花〟が咲いている気象条件だった。

裏作のビニールハウス見学

夢のある農業を

大岩年也　安房

わたくしは貝渚という部落へ分宿ただき意見の交換、経営内容などの話いをした。

気候が温暖なので水田が少ないわりに、葉約度の高いイチゴなどの栽培が行なわれているものと思われるが、水田は高低差が大きく土地条件は良くない。が、しかし東京という大消費地に近く、気候という大きなバックボーンにささえられ土地の高度利用により反当収益の向上を計り、労働生産性の向上をめざしている点は日本農業の特性を良くあらわしていると思った。

その点巻町は水田単作地帯のため、経営規模も大きい方で安定した経営であるとともに発展性の少ない、いや発展性を今までさまたげたが何かあったのではないだろうか。

条件の良い土地を持ちながら利用の方は一部の裏作に過ぎず、まして〝米〟という白いダイヤの上に大きく「アグラ」をかいて生活して来たように思われる。気候など大きなハンデキャップがあるとしてもそれなりに利用し、対処し経営の向上を計るべきなのだと思うのだが……

鴨川町農業全体の感じは時代の波にそってとか、失敗の少ない イチゴを中心にとか、今後の設計には夢が少なく小さいようで、確実な考えより、もっと大きな夢を持って農業の発展を考えてもらいたいと思った。

千葉と新潟では環境こそちがうが同じ農業を行なっているのであるから共通点があると思うし、良い点は学び何らかの形で経営にプラスし農業の発展に努力したいし、またするのが我々の使命なのだと覚悟を新らたにしました。

生活第一主義

富山初枝　西蒲原

しか見ていなかったわたくしが、鴨川町へ行って見て今まで以上に巻町の農業の良さを見なおしました。耕地が区画整理してなかったことも手伝ってなおいっそう鴨川より家の方が良いなどということになったのかとも思われます。わたくしのお世話いただいたSさん宅を見てもやはり、それと同じようなことを感じました。家族は祖母、両親、二人姉妹の計五名で、水田一・八ヘクタール、畑〇・四ヘクタールを経営し農閑期には三名が外へ働きに出るということでした。外へ働きに出ることがプラスになるかマイナスになるか、わたくしにはわかりませんけれど必ずしもマイナスの面が多いと、いい切ることは出来ませんでした。

彼女の家の行き届いた生活改善、特に台所、部屋の設計などに細かい心づかいを見ることができたからです。経済的ゆとりを、わたくし自身の目で見抜くことができたと思います。

御主人の話ではビニールハウスの収入より多いし、また雨降りには気軽に休めることなどがあげられていました。生活第一主義の神様とでもいいたい御主人の考えに感動しました。

ここでいえることは若者がもっとさまざまのことを学んで明るい家庭生活を送れるよう努力しなければいけないということだと考えました。

いままで嫌いだといって避けていた女性としての教養も身に付ける必要にせまられた感じでした。

家庭の環境が悪いためか男性みたいなところもある自分をまず反省したいと思います。

最後に巻町のことは、方言をもう少しやさしさのあるものにしたいと思いました。標準語とは違ったムードでトゲのないことばを使うよう心がけたいと思いました。

町長にきく

巻十三区　水倉六郎

火葬場の移転について伺いたします。

最近町の住宅団地造成もあずかって、住宅は東西南北に伸びていることは町発展のため大変喜ばしいことです。しかし、火葬場があるので進んでしないと思います。移転についてはなんども陳情しているのですが、その見通しはどうなのでしょうか。すでに移転するための用地は買収ずみで、岩室村と共同設置になるとかきいていますがほんとうでしょうか。

いずれにしろ、一日も早く移転を実現し、立派な町づくりをしていただきたいと思います。

建設位置は、下和納部落から西へ約五百米の西川の川原を選定し、約三千三百平方米の敷地を買収してあります。

建設の時期については岩室村との関係もありまして、四十一年度は準備期間として、四十二年度線を目標に近く岩室村と協議する予定になっております。これが完成すれば、近代的な施設として、みなさんの期待にそえるものと思います。

お答えします

水倉さんの御質問はもっともと考えております。

火葬場の移転について数年前より強い要望があります。町としても現在の施設も老朽化し、また町の発展を考え現在の位置は適地でないので移転を決意しました。昭和三十八年議会の同意を得て敷地の選定をしました。

時、岩室村から共同して設置しないかと話がありましたので、昭和三十九年当初から数回にわたる協議を重ねた結果、共同施設として設置することに決まりました。

敷地位置は、下和納部落から西へ約五百米の西川の川原を選定し、約三千三百平方米の敷地を買収してあります。

建設の時期については岩室村との関係もありまして、四十一年度は準備期間として、四十二年度線を目標に近く岩室村と協議する予定になっております。これが完成すれば、近代的な施設として、みなさんの期待にそえるものと思います。

今月の納税

固定資産税　第１期

納期限・5月31日ぜひ納期限内に納入してください

し尿の完全処理

衛生センターご案内

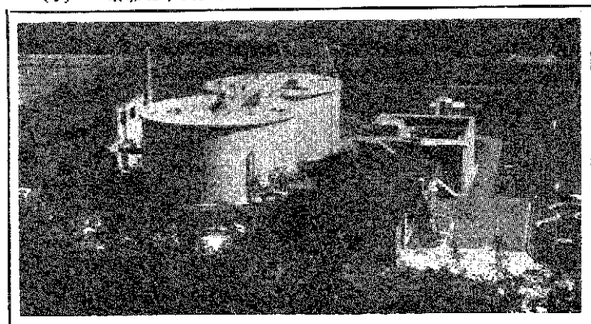
＝是非見学を＝

巻町外三カ町村の共同施設として、巻町大字福井地内の旧畜産試験場のわきに近代的な衛生センターが完成しました。この共同施設の完成は、広域事業としても大きな意義があります。

本施設は敷地六千六百三十一平方米もある。一日三万六千人分のし尿処理能力を持つ、加温嫌気性消化方式によって完全処理する近代的な施設で、し尿の臭いがしないのが特色です。

ここでは小巻衛生センター責任者以下四人の職員が働いています。敷地内には養魚池があり、桜の木四十本植樹し、空地に芝を植えて遊園もできております。周囲は玉樟四百本を植えてみなさんの憩の場所として、親しまれるよう工夫しています。

最近、各地からたくさんの人たちが視察にみえます。今月はし尿がどのように処理されるか知っていただくため、し尿が投入されて完全処理が行なわれ、放流するまでの順序をのせました。町民のみなさんも休日などを利用されて、是非一度施設を見学してください。また、各学校におかれても社会勉強として、この近代的な衛生センターを見学していただきたいと思います。



巻町ほか三カ町村衛生センター全景

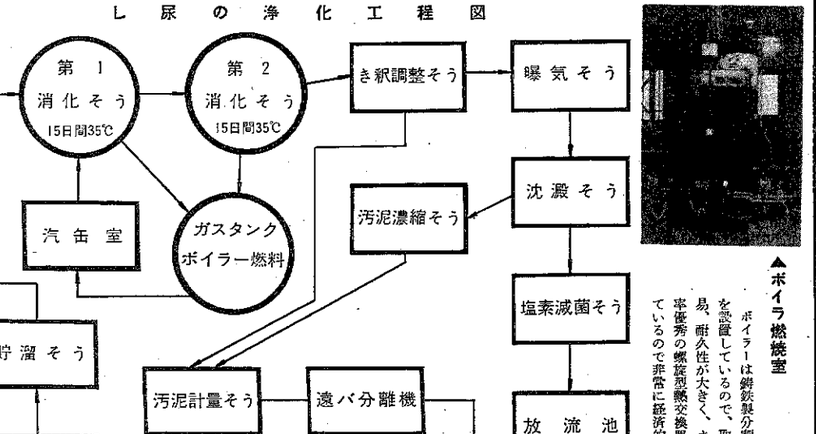
▶消化設備

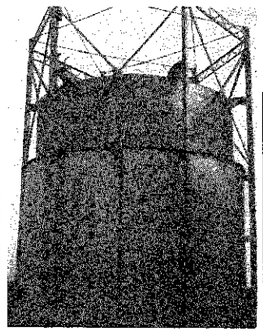
（消化そう、攪拌機、定水位そう）

消化そうは、第一と第二があり第一消化そうにおいて、三十五度で十五日間加温する。ガスで攪拌されたものが、第二次消化そうへ送る。

第二次消化そうで同じく三十五度で十五日間加温する。消化そう内には生汲入の約八倍のガスが発生するので、脱硫機で脱硫して、燃えるガスにしたものをガスタンクへ送る。

し尿の浄化工程図





▲ガスタンク

消化そうに発生したガスを貯蔵して加温する燃料として使われる。このため重油の補給が少なくて済む。

▲ボイラ燃焼室

ボイラーは鋳鉄製分割型温水缶を設置しているので、取り扱い容易、耐久性が大きく、また、熱効率優秀の螺旋型熱交換器を採用しているので非常に経済的である。

▲投入設備

（投入室、貯溜そう、ポンプ室）

投入口へホースを入れると自動水洗式になっており、圧力水で臭を外部へ出さない装置がついている。

投入されたし尿は破砕機で、こなごなにして貯溜そうへ送る。

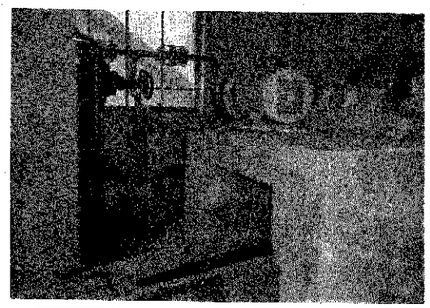
汚泥処理設備▼

（汚泥計量そう、遠心分離機）

沈澱した汚泥は濃縮そうを通って、汚泥計量そうに導いて計量し、遠心分離機によって水分を約七十五％程度まで脱水する。

脱水された汚泥は処理室でケーキにつくられる。

このケーキは肥効性が高く、運搬にも便利である。



▲二次処理設備

（き釈調整そう、曝気そう、沈澱そう、塩素滅菌そう、汚泥濃縮そう、ポンプ室）

第二次消化そうより送られてきたし尿をポンプで取水した水で20倍にうすめて、曝気そうに圧送する。ブロワ室から空気を送って、曝気そうの底の部分から、上部へ槽内に十分空気と接しとくさせて酸化処理する。酸化させたものを沈澱そうへ送る。汚泥をすっかりとった水を、塩素滅菌そうへ送る。塩素で消毒滅菌して、放流池を通して放流する。

また、沈澱した汚泥は、汚泥濃縮そうへ送る。

人権擁護委員に堂谷氏
行政相談委員に和田氏

四月一日付で堂谷哲雄氏が、人権擁護委員に、和田吉二氏が、巻地区行政相談員になられました。お困りの方はお気軽におでかけください。

堂谷　哲雄氏

人権擁護委員というのは人身保護法により国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図るために置かれているものです。

みなさんが私的制裁、人身売買、村八分、強制労働、教育を受ける権利の侵犯などの問題でお困りの方は他にもれることは絶対にありませんから、安心して自宅の方へ御相談にお出かけください。

なお堂谷委員のお住まいは、七区で公民館わきの安養寺です。

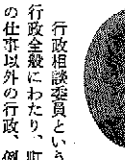
和田　吉二氏

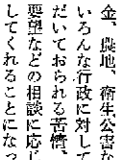
行政相談委員というのは行政全般にわたり、町独自の仕事以外の行政、例えば恩給、年金、生活保護、税金、農地、衛生、公害など、いろんな行政に対して、いだいておられる苦情、不満要望などの相談に応じ解決してくれることになっております。

なお和田委員のお住まいは、巻町十三区、電話二局二七〇一番。

県大会に
康子・裕子ちゃん

昭和四十一年度西蒲、燕地区春季赤ちゃん、三才児コンテストが巻保健所で開かれ、巻町から赤ちゃんの部で康子ちゃん、三才児で裕子ちゃんが一位に入賞し五月十八日の県大会に出場されます。


▽赤ちゃん一位
山岸康子（一区、団体職員清、長女）


▽三才児一位
安尻裕子（九区、教員、元二、二女）

交通安全旬間
十一日～二十日

年々増加の一途をたどっている交通事故防止対策として、全国いっせいに恒例の春の交通安全週動が五月十一日より五月二十日までの十日間行なわれます。みなさんもこれを機会に次の重点事項をよく守り、今年こそは交通事故〝0〟を目標に人も車も互いに協力致しましょう。

一、飲酒運転は絶対にやめよう。

〝飲んだら乗るな、乗るなら飲むな〟

一、運転者は横断歩道直前で必ず徐行、また横断歩道に歩行者がいたら、必ず直前で一時停止をしましょう

一、自転車の二人乗りは絶対にやめよう。

一、自転車の一列進行を励行しましょう。

一、歩行者は、必ず横断歩道を渡りましょう。

〝横断歩道でないところを渡るときは、左右を確認してから渡りましょう〟

一、道路に商品、その他の物件を置かないようにしましょう。とくにパチンコ店自転車店、本屋などの店頭の自転車は交通の邪魔になるので、きちんと整理しておきましょう。

危険物取扱主任者試験

危険物取扱主任者の試験が次の要領にもとづいて実施されますから、危険物を扱っていられる方は試験を受けてください。

一、試験の日時
昭和四十一年六月二十六日午前九時三十分。

二、試験の種類
甲種危険物取扱主任者試験
乙種危険物取扱主任者試験
（一、二、三、四、五、六類）

三、試験場
新潟大学、人文学部

四、受験願書？受付期間
昭和四十一年五月二十日まで

五、願書の送り先
新潟市学校町一、新潟県消防防災課

六、受験資格
実務経験六カ月以上

七、合格発表
昭和四十一年七月下旬

▼願書は巻町消防署にあります。

※油類を指定数量以上取扱う人は、だれでも資格をもっていないと、取扱いできません。また、一定の設備がないと取扱いできません。（消防署）

大川さん、小川さん勇退さる

役場人事の異動がありました。

四月末日で永年、町の行政振興に尽力されてきた、税務課長大川浩司さん、松野尾駐在室兼松野尾保育園長小川与一郎さんが勇退されました。

後任には五月一日付け税務課長市橋徳一郎（前相談室長）、松野尾駐在室兼松野尾保育園長馬場聡（前企画調査課統計係長）が発令になりました。

子供を水から守りましょう

毎年幼い命が水死事故によって数多く失なわれ大きな社会問題となっています。

県下一斉に四月から十月までこどもを水から守る運動が展開されます。

これから春の農繁期を迎えてどうしても幼児に対する保護監督がおざなりになりますが充分に注意して水の犠牲者を出さないよう、ふだんからしつけを徹底するとともに次の事項に留意しましょう。

一、危険な水辺に近よらせないこと。

二、幼児同志だけで遊ばせておかないこと。

三、仕事をかたわら子守をかねる場合は特に保護に十分注意し、附近に危険な場所があるときは、幼児の行動範囲を限定し、危険な場所に対する防護措置を完全にしておくこと。

川はきれいに

「私だけなら……」と、みんなの方がゴミを川に捨てたら、川はきたなくというよりゴミで埋まってしまいます。「私だけでも」と考えなおしてゴミを捨てることをやめたら、川はいつもきれいに流れているでしょう。町はいつも川にゴミを捨てないようお願いしているのですが、なかなかご協力いただけないようです。

セキのところなどはゴミがたまって悪臭がして、とてもきたなくなっています。

これからはだんだんカとハエの季節となります。とくにきれいにしておきたいものです。ゴミがポリバケツに入りきらないときは、ポリ袋に入れてきめられた場所においてください。またゴミをできるだけ少なくするようくふうをお願いします。

みなさん一人ひとりの心がけ一つで町はきれいになると思います。川をいつもきれいに、ゴミのない川の実現にご協力ください。

望ま訪問希

今月は、旧電報電話局GQの落し子などと呼ばれ跡に移られた農林省新潟統計調査事務所巻出張所にお邪魔した。

事務所のなかには資料センターだけに書籍、ロッカーがところ狭しと置かれている。この四月、異動で十日町出張所から転任してこられた番生産高、耕地統計係—作付面積、

農林業推進の羅針盤
統計調査事務所巻出張所

長　所　場　番

▼農林総産統計係—農家の業、養蚕
▼流通統計係—流通機構（生産から～出荷までの経路）
▼経済調査係—農家経営、物価、賃金
昭和二十二年四月統計、生産費、以上の仕事を所長外十五名の職員で農林業全般にとりくんでいる。

「最近、生鮮食料品の流通問題が大きくとりあげられています。

この流通過程の合理化ということから、取引の実態に歩調をあわせ流通の段階ごとに数量、価格、経費を把握する仕事にも手を広げています。

わたくしたちの悩みは調査協力をお願いしても、予算的な裏づけが充分でないため、手当を思うようにだせないことです。

それとこの仕事の性質上みなさんの協力なしではスムーズに運べないということです。

われわれ統計マンは〝じみ〟で〝間口の広い〟を、農家に反映させることに大きな誇りを持っています。」熱っぽい口調で結ばれた。

金魚カッテ……

春祭がやってきた。「むかしのお祭はにぎやかだった」その面影もどこへやら、今はただ初夏の日ざしの中に、夏の風物詩として親しまれている金魚やさんが子供たちを喜ばせていた。

県下ナンバーワン

村の鎮守の神様の、今日はめでたいお祭日……こんな寓話を昔はよく歌われた。松野尾の若宮神社のしめ縄は、昔から下組部落で、部落の繁栄と豊作を祝って奉納される。大きさは、長さ六米、重さ三百キロ、周りは大人三人で抱きまわすほど大きく、県下で未だ嘗てしいものだ。その昔、あまり大きいので小さいしめ縄を奉納したところ、部落の人たちは疫病にかかり、作物は不作で、不幸の年となったと言い伝えられている

ピーナッツ・フランシュ

王手、飛車とり

日増しにふえる将棋愛好家たちが、会員五十名で将棋会を結成このほど巻町将棋会設立総会記念大会を開いた。対座、将棋盤を見つめ、しばし沈黙戦〝王手飛車取り〟終日、静かなる熱戦を展開していた。

男女同権

ラジオ農業学校は、一、二年生合同で佐藤哲及員を招き、春の野菜を用いた〝青菜のナムル〟他二品の料理講習を受けた。男性もなれぬ手つきで包丁を握り、女性のありがた味を痛感していた。